

住民の立場から見た県政の現状と展望

一月二十八日に招集された二月定期県議会において、大橋知事は、昭和四十八年度の県政をすすめるにあたって次のようないしむを行いました。

「県政の課題の中で、私がもつとも緊要と考えるのは、県民の一人一人の基本的人権が真に確立されることであり、近代社会の原理として何人にも保障されるべき市民的権利と自由への実現を阻害する諸要因を完全に除去することにあると存じます。」

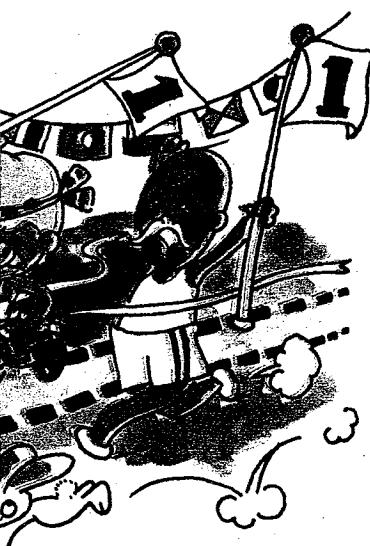
先般県同和委員会において馬頭県議の発言について差別事象と判断する旨の決定がございましたが、同和対策事業特別措置法が施行されて三年半余を経過した今日、事業の推進とその内容の充実を期するため国に対しても皆さんとともに強く働きかけ、県政の中でも同和対策をもつとも重要な柱として取り組んでいるときだけに、この発言はまさに遺憾であります。私は今後同和問題解決のため決意を新たにしてまいりたいと存じます。

さて、申しあげるまでもなく、地方自治の本旨は、それぞれの自治体がそれぞれの地勢、気候等の風土に立脚し、特色をいかしつつ住民の立場にたって、個性のある県づくり、まちづくりをすすめていくことにあると存じます。

立地条件からみると、本県はゆたかな自然に恵まれている反面、日本の表街道に位置しているとは言い難い短所をかかえているのであります。そこから県民の生活の上に多くの問題を派生しているのであります。このよつて弱点を克服して、県民の豊かな生活を確立し、和歌山県を大きく発展させていくためには、私には積極的に乗り、活用することにより強力な施策を展開していくことが必要と存じます。

たとえば、列島改造論がうたっている交通体系の整備の考え方には積極的に乗つて、阪和高速道路の紀南への延長、あるいは紀勢新幹線の実現を図り、全国的な幹線網と直結させたいと考えております。また、工場を地方に向けて再配達するという考え方についても県下の過疎地域の若い人達が安心して、近くで働ける職場が得られるよう、公害のない企業、公害を防止しうる企業を積極的に誘致したいと考えております。

- 県政の将来への展望の確立
- 福祉対策の拡充
- 同和対策の積極的な推進
- 健康な県民生活づくり
- 明るい県民生活づくり
- 教育と文化、スポーツの振興
- 県内産業の振興と特別緊急対策
- 生活基盤、経済基盤の整備



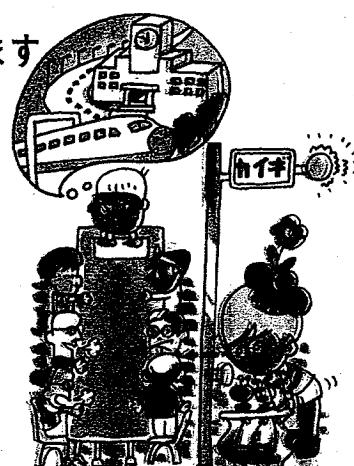
母さんと子どもに

2歳児児の医療費を無料化
母子および寡婦福祉資金の貸付金を無料化
北養護学校に高等部を新設
南養護学校の建設用地を取得
働く婦人の家を建設

和歌山県の将来を考えます

- 第三次長期総合計画を策定
- 研究学園都市の開発を計画調査
- 紀南福祉エリアの調査

“早くできないかなあ”



す。

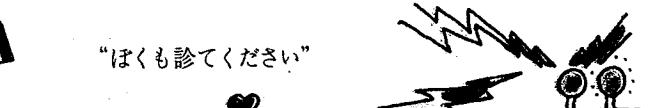
以上の所信表明にひき続き、昭和四十八年度当初予算案について、次の八つの重点施策を中心提案理由の説明が行なわれました。

明るい県民生活づくりに

“船にも乗りたいし、
外国へも行きたいし
キャンプもいいなあ”

同和対策を積極的に推進します

- 市町村の同和対策事業債
へ利子補給制度を創設
- 環境整備の充実
- 各種融資、資金の貸し付け枠を拡大
- 進学奨励補助を充実
- 皮革産業構造改善事業を実施
- 同和保育の振興補助制度を創設
- 同和加配教員を増員



“あ、あの百円はどこへ行くのかな？”

健康な県民生活づくりに

- 黒潮の子運動を推進
- 総合保健センターを建設
- 特定疾患対策を充実
- 小児難病対策を実施
- 光化学スモッグの気象調査を実施

活気のある山村に

- 山村産業試験場を設置
- 第2次林業構造改善事業を実施
- 新山村建設のモデル事業を実施
- 山村地域の農林漁業特別対策を実施

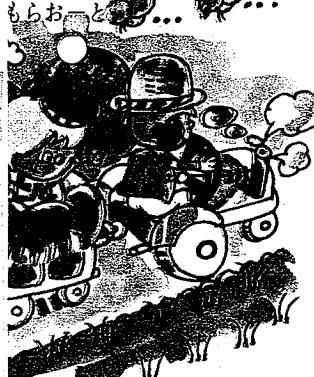
※それぞれの絵に関連してあげている項目は、予算のなかから主要事業を抜き出したものです。
●は新規事業

“うわーい、魚がいっぱいいるぞ”

生活基盤、経済基盤の整備をすすめます

- 生活圈道路を整備
- 舗装新設の地元負担を軽減
- 地方道路公社に出资金
- 和歌川の汚濁対策を推進
- 新新宮港を建設
- 農村施設などを総合整備
- 大規模農道を整備
- 浅海漁場を開拓
- し尿の海洋投棄対策を実施
- 離島振興補助を実施

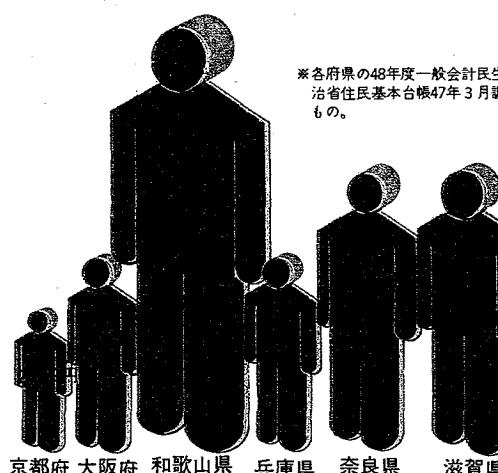
“いなかまちもまだまだよくしなくなっちゃ”



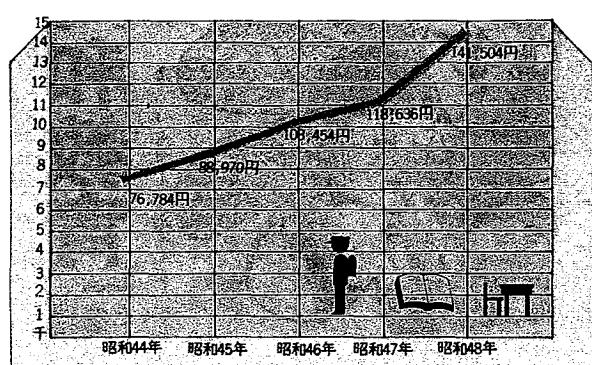
その重点施策について、内容のあらま
い『『』』

県民の友

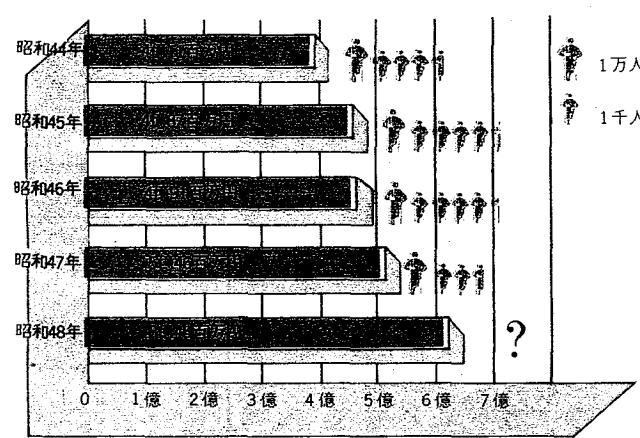
県民1人当たりの民生費



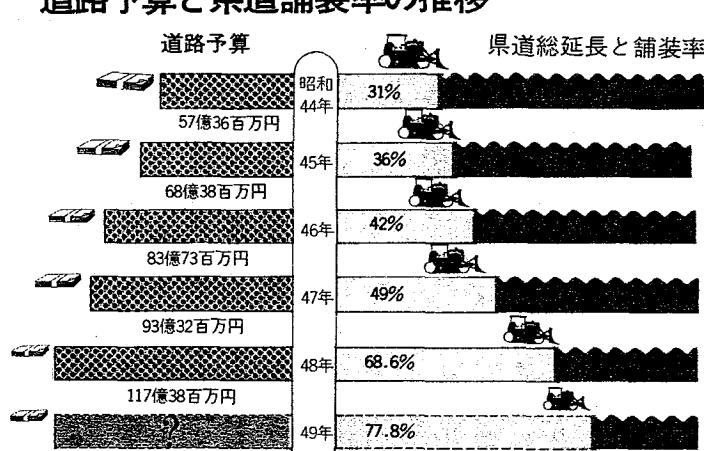
児童生徒1人当たり教育費の推移



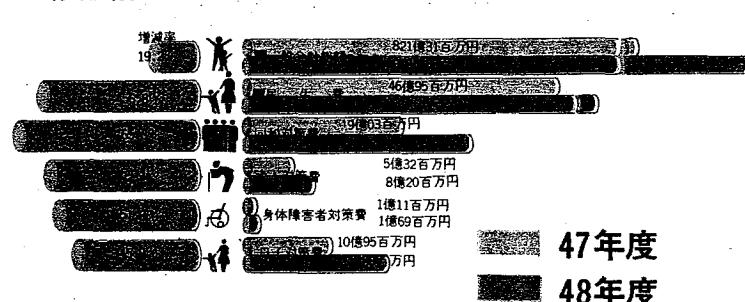
交通安全施設整備費と交通事故死傷者数の推移



道路予算と県道舗装率の推移

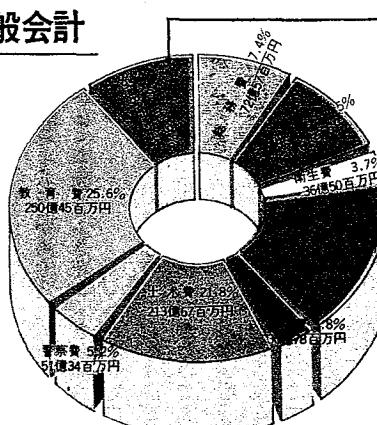


一般会計総額と民生関係費の対前年比



④昭和46年度の予算関係の数字は6月補正後の数字を使用。

一般会計



昭和48年度当初予算の内訳

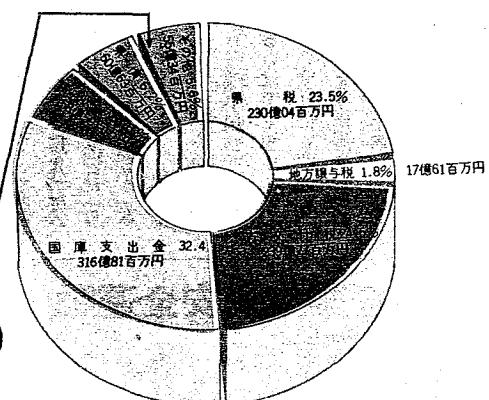
総額 1262億5555万円

(一般会計 978億7952万円)

(特別会計 220億3202万円)

(企業会計 63億4401万円)

議会費 0.4%
労働費 0.9%
災害復旧費 3.8%
公債費 3.1%
諸支出費 0.7%
予備費 0.1%



いくためには、県独自の構想を国の施策
みまします。

からだの不自由な方に

- 重度障害者に福祉手当を支給
- 身体障害者の室内プールを建設
- 身体障害者の自動車運転技能取得に助成金

お年寄りに

- 老人医療費無料年齢を67歳まで引き下げ
- 65歳以上のねたきり老人の医療費を無料化
- 老人家庭奉仕員を大幅に増員
- 老人の船を実施
- 敬老年金の支給年齢を85歳まで引き下げ

“おじいちゃんには負けられないぞ”

福祉和歌山を建設します

“さあ、いっしょに泳ぎに行こうよ”

“うわー、ばく注射はにがてだよー”

教育と文化、スポーツを振興します

- 高等学校(普通科)を新設
- 県立図書館、視聴覚センターの設計調査を実施
- 私立学校の授業料を軽減
- 文化財保護基金を設置 (2月補正)
- 日高川スポーツ広場を新設

交通対策と取り組みます

- 交通管制センターを建設
- 交通公園を建設
- 自然保護基金を設置
- 消防学校を建設

“コンピューターのお巡り
どこの道がすいてるか”

“つぶされるー”

○中小企業近代化資金を充実

●中小企業近代化促進融資を創設

●通貨調整にともなう緊急対策と“つかれたので乗せて”して特別融資を実施

農林漁業を振興します

- 多目的スプリンクラーの補助率をアップ
- うめ総合実験農場を設置
- うんしゅうみかんの共同予措施設
- みかん緊急対策を実施
- 家畜保健衛生所を新築
- 漁場の公害防止対策を強化
- 赤潮の防除対策を実施

県内産業の振興と特別緊急対策をすすめます

黒潮の子コーナー

ご存じでしょうか
妊娠初期三ヶ月の大切さを



日本育英会
特別貸与授学生を募集
年四月に進学を希望する生徒で

日本育英会では、昭和四十九
年四月に進学を希望する生徒で

学資の不足する方に、奨学金を
お貸しします。
貸与額 ①高校四千円 ②高專四千五百円(自宅通学)六千円(自宅通学外)③大学〇自宅通学八千円(国公立)一万一千円(私立短大)

千円(私立四年制、九千五百円
(私立短大)〇自宅外通学一万二千円(國公立)一万七千円、
(私立四年制)一万四千五百円

の日本育英会和歌山県支部へ。
なお、詳細は県学校教育課内
(〇七三四)三一〇五〇二八

送り出されるため、いわゆる「つわり」が起ります。

第三カ月(九月十二週)になると、形も赤ちゃんらしく整います。そこで、「胎児」と呼ばれるようになります。

(2)第四週の初めになると、頭になる部分と顔になる部分が、小さな凹凸をつくり始めます。

(3)第四週の終わりには、消化器系の各部分(口からなど)、食道胃腸など)、呼吸器系(気管、肺など)、泌尿器系統などがで

きるため、左右四つ(二対)の隆起が現われて、手と足の発達が始まります。

第一カ月(五一八週)にはいかから役割りの分担が定まっています。いくつかのグループに分かれそれぞれ異なる働きを始めようとしているのです。すなわち

(1)一部は、胎児となって成長(2)一部は、胎盤となつて保育の役目を受け持つ(3)一部は、臍帯となつて胎児と胎盤をつなぐ命の綱となる

などです。

第三週にはいると、もうどの細胞が、将来どの器官になると

い(4)脳、(5)ホルモンをつくるところ(6)性腺、(7)胎盤になる部分があります。胎盤なども形に現われてきます。

この赤ちゃんとが健全に成長するか否かの大重要な基礎づくりの時期であるわけです。

生命の始まりは、本当に神秘的というほかはありません。

それは、月一回排出される一つの卵子と、数億もの中から最

初に卵子に到達した、ただ一個の精子とか結合して生じる、ただ一つの細胞(受精卵)から始まるのです。

この一つの細胞が、二つに分裂され、またそれを分裂して四つになり、さらに八つになり十六に分かれ、六日目ころには百個以上の細胞のかたまりになります。

もちろん、父母から受けついだ遺伝子も各細胞に、平等に、分裂しているわけですが、しかもこの時すでにこの細胞たちは初め

文化ニュース

県民文化会館 5月(0734)36-1331

会館主催公演

「パトリスフォンタナローザ演奏会」
フランス文化使節、バイオリン演奏会
4月23日 小ホール 18時30分
1,500円 900円 学生 700円
3月上旬前売開始(文化会館ほか)
「ワルシャワ国立フィルハーモニー交響楽団
ボーランドが誇る魅惑のハーモニー
5月17日 大ホール 18時30分
3,800円~1,500円
3月中旬前売開始(文化会館ほか)
「ツトムヤマシタ打楽器リサイタル」
海外で評判をとった異色のドラマ
5月26日 大ホール 18時30分
1,300円 1,000円 学生 700円
3月下旬前売開始(文化会館ほか)
「松竹大歌舞伎」
梅幸、羽左エ門ほか大挙来演
6月30日 大ホール 12時 17時
2,000円 1,500円 1,000円 500円
4月中旬前売開始(文化会館ほか)

♪大ホール♪

4月5日 音楽会 10時 無料
6日 第3回グレード・クックスステージ
18時30分 1,600円 1,300円 600円
8日 金崎二三子舞踊会 12時 1,500円
10日 民音「鶴岡雅義と東京ロマンチカ」
19時 950円
15日 舞踊発表会 10時30分 無料
26日 レコードコンサート 18時 無料

♪小ホール♪

4月6日 ヤマハ音楽教室発表会 10時 無料
8日 ピアノ発表会 13時 無料
11日 労音「野島稔ピアノリサイタル」
18時30分 1,000円
14日 音楽会 13時 無料
15日 ピアノ発表会 13時 無料
19日 民音「中川信隆ギター演奏会」
19時 650円
28日 ピアノ発表会 14時 無料
29日 光の会ピアノコンサート 13時 無料

近代美術館 5月(0734)36-1331

4月5日~9日 和大総合美術展
12日~16日 和菴会書道展覧会
18日~5月3日 日本伝統工芸秀作展 有料
19日~22日 和歌山旺玄美術展
26日~30日 第24回和歌山市医師会美術展
5月2日~6日 第2回集団「光」写真展

博物館 5月(0734)23-2467

(常設) 和歌山の文化財
特別陳列として能面展(4月中旬~5月中旬)を予定しています。
一般50円 学生30円
※博物館は和歌山城内県立図書館の前

紀伊風土記の丘 5月(0734)71-6123

資料館 原始・古代の紀伊国展
一般50円 学生40~10円

紀伊風土記の丘への交通は
和佐線 岩橋バス停から南へ徒歩10分
鳴神線 鳴神町バス停から東へ徒歩15分
※博物館と資料館は毎週月曜日(美術館は毎週火曜日)と祝日の翌日が休館日です。
開館時間は午前9時30分~午後5時(資料館は午前9時~午後4時30分)

テレビ「紀州アルバム」くろしおのくに
~南紀州~

四国テレビ 4月1日・8日 7:45~8:00
毎日テレビ 4月13日 8:00~8:15

ラジオ「県庁だより」~県政の動きとお知らせ~
和歌山放送(日曜日を除く毎日)12:30~12:35
映画「県政トピックス」
県内常設映画館で上映中

*16ミリフィルムの貸し出しもしています。
県広報課、県事務所へお申し込みください。

新年度のしごとから

教育、相談

◆テストを中心とした通信講座を開設
消費生活センターでは、開設三年目を迎える「消費者教育」「消費生活上の苦情・相談の処理」「商品テスト」を三つの柱に、消費者サイドにたって次のように実事業をすすめています。

◆居ながらにして勉強できる通信講座を開設
「消費生活センター」の木曜教室を受講したいが遠くて行けない移动センターや出張講座などをしており、このために、妊娠初期の三ヶ月間特に大切な時期として十分注意していただきたいと強くお願いするわけです。

◆科学する消費者づくりをめざしてく一環として、消費者自身にも商品のテストをしてみたいために、経済センターにて商品のテストをしてみます。ここには、食品・繊維・化粧品などの簡単なテストがで

します。ここには、食品・繊維・化粧品などの簡単なテストがで、私は、続けて深く勉強できない。このよくな不満を解決するため、四十八年度から消費者通信講座を開設します。これ

消費生活センターだより

和歌山市西河丁1-2
5月(0734)33-1551

◆あなたの街から村まで
「くらし号」二百ヵ所を巡回

動く消費生活センターとして
去年末に誕生した「くらし号」

は、すでに四十ヵ所を巡回す

生活センターを開設いたしました。四十八年度はさらに開設地をふやし、約三百ヵ所を巡回す

る予定です。エプロン姿のままお肌がるに、消費生活上の相談やテスト、講座などが受けられます。

「くらし号」による移動セ

日本育英会
特別貸与授学生を募集
年四月に進学を希望する生徒で

日本育英会では、昭和四十九
年四月に進学を希望する生徒で

学資の不足する方に、奨学金をお貸しします。

貸与額 ①高校四千円 ②高専四千五百円(自宅通学)六千円(自宅通学外)③大学〇自宅通学八千円(国公立)一万一千円(私立短大)

千円(私立四年制、九千五百円
(私立短大)〇自宅外通学一万二千円(國公立)一万七千円、
(私立四年制)一万四千五百円

の日本育英会和歌山県支部へ。
なお、詳細は県学校教育課内

在学(出身)学校長の推せんが
必要です。

なお、詳細は県学校教育課内
(〇七三四)三一〇五〇二八

送り出されるため、いわゆる「つわり」が起ります。